

爪切り屋メディカルフットケアJF協会 協会通信

心つなぐ足へのメッセージ

NO.18

2014年 4月 発行

編集・発行 爪切り屋メディカルフットケアJF協会 広報委員会
〒179-0085 東京都練馬区早宮3-12-5 Tel 03-3992-1824 Fax 03-3992-3309

会長のページ

爪切り屋メディカルフットケアJF協会

会長 宮川 晴妃



めまぐるしく変化する天候に宇宙の不気味な異変を感じずには
られません。

元気に年をとり、活動的な生活を続けることが重視されてきて
いますが、まだまだの様な気がします。福祉というと、介護とか、
体が不自由だとか面倒をみるとか、ネガティブなイメージがある
と思います。そこで美容やメディカルフットケアを入れることで
年老いても美しくというポジティブな考えかたができます。
それが介護予防と繋がっていくのだと思います。

2014年3月28日早宮教室にて

病気や高齢の方が、まえ向きに生きることをお手伝いをする為にはフットケアワーカーを
育てなくてはならないと考えています。いまは高齢者に限らず、幼児、若年層でも爪の問題
が拡大している状況です。これらへ適切に対応するためには「爪きり」の重要性を医療、
福祉関係者、一般の人達が理解し、正しい方法が普及出来なくてはなりません。その為にも
会員皆様の力が必要です。一人でも多くの方々に足・爪が健康と関わりをもって要ることを
理解頂けるような普及活動にも協力して頂きたいと願っています。

= 糖尿病患者へのフットケアを行う前の重要なポイント =

- 1) アセスメント：聞く・触れる・視る
- 2) 履物と靴下：足が靴にあっているか、靴下は足に合っているか、足首のゴム部分がきつくないか
- 3) 血行：足先の脈拍・皮膚の温度・皮膚の色、触れる、視る
- 4) 神経：足指の動き・発汗、中足骨の陥落の広がり
- 5) 爪：爪の切り方・厚み・色・もろさ・硬さ爪床にしっかりついているか
- 6) 足の変形と増加した重圧の範囲：ハンマートゥー・上に重なった足趾・外反母趾
- 7) 皮膚：一般的な厚みと潤い、局所的な皮膚障害：タコ、魚の目、皮膚硬結、皮膚のひび割れ、皮内の血腫、足趾の間
- 8) 傷：ランク分け・裂け具合と深さ・感染症の広がり具合
- 9) 浮腫：足全体・ひざ下・指先

大切な事は見極めです。おかしいと思ったら、すぐに受診を勧めてください。



安由起子さん 根崎淳子さん

茨城県水戸駅の北口から徒歩5分の道路に面したビルの2階にあるフットケアサロン カモミール を取材しました。

爪切り屋メディカルフットケアJF協会の理事でもある安由起子さんと『いつまでも自分の足で歩ける喜びを感じていただきたい！それがカモミールの願いです』というホームページを担当している根崎淳子さんが9年前に開店しました。

=サロンの運営と活動=

お客さまの多様なニーズに応えるために、ペディグラスの足爪補正士の認定を受けたり、カサハラ足裏バランスポディストの認定者の資格を取得したりして、サロンメニューを充実し、

- ☆巻き爪などの爪切り、補正
- ☆タコなどの足裏の角質ケア
- ☆テーピングによる足のアーチケア
- ☆サロンに来られない方や施設へ出張ケア
- ☆安全な爪の切り方など講習会も企画、開催
- ☆高齢者の転倒予防のためのフットケア普及活動

と幅広い活動を展開しています。



アロマの香りに包まれたサロンには、2台のフットケアチェアと1台の施術ベッドがそれぞれカーテンで仕切ることができるように配置されています。香りと色などで、寛げる専門店を演出しています。また、ドリンクメニューとしてハーブティーなどの甘いお飲物も用意しています。

講演では看護学校や県の元気高齢者を対象とした講座も担当し、普及活動に楽しさも見出しています。サロンを運営していくには家賃など経費も嵩みますので経営努力も必要です。サービスディやサービスメニューを設定したりもしています。詳細はホームページをご覧ください。



施術に当たっては契約書も準備していますが、なによりもお客様との信頼関係が大切と実感しています。時には認知症のお客様に「自分に点数を付けなくてもいいよ」と励まされたこともありました。お客様に感謝の言葉をいただいた時に爪切りをしていて良かったと思え、それが継続の力になっているとのことでした。

出張ケアの時に使用する道具をコンパクトに使い勝手よくまとめる袋もそのようなつながりの中で作成されました。このバックを車に積んで施設や在宅に行きますと、手早くフットケアの準備が整います。

=取材を終えて= なによりもお二人の誠実で真摯なお人柄を感じました。足と爪については臨床学問体系ができていませんし、臨床事例研究もすすんでいないのが日本のフットケアの現状です。ですからフットケアの施術に当たっては不安が多くあります。カモミールのお二人はそのような不安と困難に対して、お互いに学びを深め合いながら乗り越えてきました。

爪切り屋フットケアJF協会の協会員数は百名を越えました。会員間で情報交換し事例から学んだことを共有していきましょう。情報交換と学びの“場”が必要です。この協会通信もその“場”の一つでありたいと思います。会員の皆さまからの情報発信をお願いします。



協会通信17号の掲載に引き続き今回は日本公衆衛生学会でのアンケートを集計した結果を掲載します。



職種	人数	%
看護師	1	2%
公務員	1	2%
事務職	1	2%
助産師	1	2%
健康運動指導員	2	3%
団体職員	3	5%
医師	3	5%
その他	3	5%
無回答	3	5%
歯科衛生士	4	6%
学生	8	13%
保健師	15	24%
大学関係	17	27%
合計	62	100%

足の爪は歩く時に大事だと思う

回答	人数	%
はい	57	92%
いいえ	3	5%
話を聞いて解った	1	2%
無回答	1	2%
合計	62	100%

自分も爪にトラブルを抱えている

回答	人数	%
はい	39	63%
いいえ	23	37%
合計	62	100%

他者の足の爪を切った事がありますか

回答	人数	%
はい	34	55%
いいえ	28	45%
合計	62	100%

本日ケアをいけた方からの回答

フットケアをどう感じましたか

回答	人数	%
良い	60	97%
どちらとも	0	0%
よくない	0	0%
無回答	2	3%
合計	62	100%

フットケアという言葉聞いた事がある

回答	人数	%
はい	61	98%
いいえ	1	2%
合計	62	100%

フットケアと爪切りは同じだと思っている

回答	人数	%
はい	7	11%
いいえ	54	87%
無回答	1	2%
合計	62	100%

フットケアに興味を持っている

回答	人数	%
はい	58	94%
いいえ	1	2%
いいえ	2	3%
無回答	1	2%
合計	62	100%

爪切りで困っている事がある

回答	人数	%
はい	31	50%
いいえ	28	45%
無回答	3	5%
合計	62	100%

出血させてしまった事がある

回答	人数	%
はい	26	72%
いいえ	10	28%
合計	36	100%

人に知らせたいですか

回答	人数	%
非常に思う	53	85%
思う	3	5%
どちらとも	4	6%
思わない	0	0%
無回答	2	3%

日本公衆衛生学会の参加者が大学、保健師、等指導する立場の方々が多い事がアンケートから見てとれます。フットケアを体験してフットケアに興味を示して頂けた事だと思います。

今後この学会での展示を継続する事でこれらの指導者と協会の連携でフットケアの普及活動が出来たらと思います。

フットケアの勉強をしたいと思っている

回答	人数	%
はい	40	65%
いいえ	7	11%
いいえ	14	23%
無回答	1	2%
合計	62	100%

爪切りで出血した事がある

回答	人数	%
はい	16	26%
いいえ	44	71%
無回答	2	3%
合計	62	100%

厚みのある爪や巻き爪等は切れない

回答	人数	%
はい	33	92%
いいえ	3	8%
合計	36	100%

次回

日本公衆衛生学会総会開催は
平成26年

11月5日(水)～7日(金)
栃木県宇都宮市で行われる事が
決まっております。

第41回理事会がコーポラス泉の協会事務局で行われました。

詳細は協会ホームページの会員限定ページに議事録がアップされていますのでご覧ください。

○ 26年度研修会日程

26回研修会：4月12日 / 27回研修会：7月5日（土） / 28回研修会：11月8日（土）

○ 理事改選

今回理事を退任する方々です（敬称略）

本林 麻紀子	東京都	保健師
安 由起子	茨城県	フットケアサロン カモミール 代表
折笠 無我	岩手県	ホットサポート 代表
関根 良子	東京都	フットケアサロン歩行（ふゆき） 代表
木村 鉄也	福岡県	ヤルコホイタヤ 代表
宮垣 滋子	神奈川県	介護支援専門員

編集後記にかえて

第41回の理事会において広報委員は交代いたします。そこで、これまでの広報委員会活動について簡単にまとめてみたいと思います。

○成り立ち

2007年9月17日に行われた第6回理事会において、総務委員会・教育委員会・研修委員会・広報委員会が立ち上がり、広報委員会は会員が協会の情報を共有することを目的として、「爪切り屋メディカルフットケアJF協会通信」を発行することとなりました。当初は協会事務局と総務委員を兼務している高橋すみえ理事と関根良子理事が担当していました。

○各号の概要

	発行日	主な内容など	担当理事
第1号	2007年12月22日	・巻頭言として宮川会長の「私とフットケア」を連載とする ・理事会報告	高橋・関根
第2号	2008年7月15日	・平成20年度定時総会報告（会員総数63名）研修会報告 理事会報告	高橋・関根
第3号	2009年2月28日	・理事会報告 研修会報告 会員投稿：木村鉄也さん	高橋・関根
第4号	2009年6月8日	・定時総会報告（会員総数84名） 理事会報告； 会員証発行 承認証発行 協会ホームページドメイン取得 商標使用について	高橋・関根
第5号	2009年10月14日	・研修会報告 理事会報告 オリジナルニッパー紹介 ・「ここが知りたい」巻き爪ケアのコットン法 ・会員投稿：米島庸子さん 馬庭良子さん 鈴木良江さん	高橋・関根
第6号	2010年3月15日	・ここが知りたい：グラインダーの使い方=たこ ・理事会報告：マッサージを『トリートメント』として統一	高橋・関根
第7号	2010年6月	・定時総会報告（会員総数91名） 研修会報告 理事会報告 ・「ここが知りたい」巻き爪ケアにおけるゾンドとニッパーの使い方	高橋・関根
第8号	2010年12月	・研修会報告：グラインダー・ビット 理事会報告	高橋・関根
第9号	2011年5月	・震災により4月の定時総会は6月に延期 理事会報告 研修会報告	高橋・関根
第10号	2011年8月	・定時総会報告（会員総数102名） 研修会報告 理事会報告 協会主催講習会報告 ・訃報；高橋すみえさんが8月11日にご逝去されました	木村・関根
第11号	2011年11月	・研修会報告 理事会報告	木村・関根
第12号	2012年2月	・研修会報告 理事会報告； 協会のキャッチフレーズ“心つながる足へのメッセージ”に決定	木村・関根
第13号	2012年5月	・定時総会報告（会員総数111名）研修会報告 ・理事会報告：公衆衛生学会出展決定 ・会員報告：高橋聖子さん	木村・三枝・関根
第14号	2012年11月	・理事会報告 会員取材：出張専門フットケアすずき	木村・三枝・関根
第15号	2013年5月	・研修会報告：パネルディスカッション 理事会報告：組織図	木村・三枝・関根
第16号	2013年6月	・定時総会報告（会員総数111名） ・ワンポイントレッスン①：正しい爪切りの基本としてのニッパーの使い方	木村・三枝・関根
第17号	2013年12月	・ワンポイントレッスン②：巻き爪の切り方の基本例 ・研修会報告 会員の広場：三浦和子さん	木村・三枝・関根
第18号	2014年4月	・会長のページ 会員取材：フットケアサロン カモミール	木村・三枝・関根